

今回は、2月に住職になったということを報告するという目的で、特別号としていずみ通信を発行させていただきました。住職になったということですが、まだまだ住職道の第1歩に立ったに過ぎない未熟な私です。

住職とは、とても大きな責任があることを本山の研修でも、また日々の法務の中でも感じています。これまで19人の住職が守り抜いてきたお念仏の灯を、次世代につないでいくためには、御門徒皆さんの力が必要です。どうか様々な場で、様々な形で、これからもお寺を盛り立てていただき、お育ていただきますよう、よろしくお願いいたします。

なお、住職継承法要につきましては、もう少しコロナが落ち着き、皆が安心して勤められるようになってから、きちんとした形で勤めたいと考えています。ご理解の程をよろしくお願いいたします。  
文章：住職（倉井光弥）

# いずみ通信

～養泉寺寺報 特別号～

## トピックス① 今年も「あなたのための法話会」はじまります！

今年も法話会があります。浄土真宗、お念仏の教えを一緒に聞いていきませんか。初めての方もぜひいらして下さい！（7月までの予定↓↓）

5月28日（土）	13:30～15:00	講師：養泉寺
6月28日（火）	13:30～15:00	講師：永寶晴香さん
7月28日（木）	13:30～15:00	講師：養泉寺

## トピックス② 来年4月に本山への団体参拝が計画されています！

来年勤まる本山での親鸞聖人御誕生と立教開宗の慶讃法要に合わせ、近くの寺院13ヶ寺で団体参拝をすることになりました。詳細の案内チラシはまだ作成中ですが、ご興味のある方、詳しい案内を見て検討したいという方は住職まで連絡下さい！ その方には追ってご案内させていただきます！

【日にち】	2023年4月23日（日）～25日（火）（2泊3日）
【内容】	本山の慶讃法要参拝、天橋立、南禅寺 などなど
【旅費】	61,000円（団体からの補助によりお得です）

全ての連絡先、問合せ、疑問や質問、ご意見ご感想はこちらまで！！

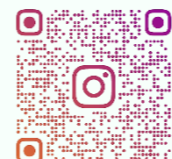
電話 0258-75-2210  
 ファックス 0258-75-2210  
 ホームページ <https://yousenji-teradomari.jimdofree.com/>  
 メール [yosenji1594@gmail.com](mailto:yosenji1594@gmail.com)  
 郵便 〒940-2502 新潟県長岡市寺泊一里塚 3883



養泉寺 LINE



養泉寺 kids LINE



TERADOMARIYOUSENJI

養泉寺 Instagram

<発行> 養泉寺出版 2022年5月20日



住職任命式直後、御影堂にて(2022年2月28日)

## 特集 ～住職修習に行ってきました～

2022年、2月26日～28日。京都の本山、真宗本廟にて住職修習が行われ、総代の皆川さん、責任役員の橋本さん、当院（当時）の3人で参加してきました。住職修習とは、住職になるために必ず受ける研修で、住職候補者（当院）、そしてその寺の御門徒さんの代表者が一緒になって参加します。

研修では、全国から同日程で参加している24ヶ寺の各参加者の皆さんとの座談会（話し合いや意見交換）の時間も多く設けられていました。さらに、朝夕のお勤めを行い、最終日には住職候補者が本山のおあさじ（朝のお勤め）に出仕しました。日程の最後には住職候補者、御門徒さんの代表者それぞれが決意表明を行い、その思いをお互いに聞き届け、住職任命式へと臨みました。式では、御門首（本山の住職）からの挨拶があり、全国の住職候補者が1人ずつ、住職任命を受けました。

これによって、2022年2月28日付で、釋静秋が養泉寺第19世住職を退任し、釋光弥が養泉寺第20世住職に就任いたしました。





御影堂や阿弥陀堂は圧巻の大きさ！ 全国の真宗門徒の熱い思いを感じずにはいられませんでした。研修中の生活は同朋会館といわれる施設で行います。ホテルの様に綺麗な建物で、部屋からは夕焼け空と京都タワーが見えました！ 講義では、講師の佐藤義成先生より、住職としてのご自身の歩みや大切にすべきことなど、様々な言葉をいただきました。2日目には、皆一緒にワークショップも行いました。「これからのお寺」をテーマにとことん考えを出し合っ



## これが私の法名です！

今回の住職修習では、総代の皆川さん、責任役員の橋本さんのお2人に帰敬式を受けていただき、それぞれが法名をいただきました。

寺の行事や寺報でもたびたびお伝えしている通り、法名は亡くなった時の名前ではなく、生きている時にお念仏の教えをよりどころとして生きる者としていただくべき名前です。

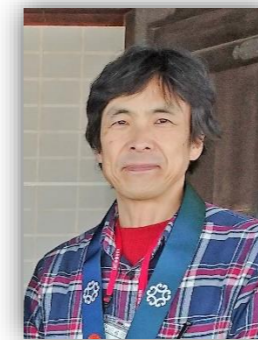
「一生の記念になりますから是非受けて下さい！」という私の声掛けに応えていただき、帰敬式では私まで胸が熱くなりました。

お2人とも、住職と一緒に話し合いを重ね、法名を選定いたしました。一緒に新たに歩み出していただき、本当に心強く、感謝の気持ちでいっぱいです。



私は国鉄・JR と、鉄道に長年勤務していたので、今回法名をいただくに当たって、「鉄」の字を使いたいと思いました。でもこだわりがあるんです。会社が「鉄」の字の右側を「失」ではなく「矢」にしているので、法名に使う字も「鉄」ではなく「鉄」にしました。

こうてつ  
釋 耕鉄 (俗名 皆川耕一)



私は自分の本名である「直行」をそのまま法名に決めました。しかし悩んだのはその読み方です。そのまま「なおゆき」でも可能でしたが、住職と相談し、より法名らしい響きをもった「ちよっこう」にしました。我が道をまっすぐに歩むという決意を持った法名です。

ちよっこう  
釋 直行 (俗名 橋本直行)

### 【あなたも帰敬式を受けて法名をいただきますませんか？】

帰敬式では剃刀の儀、いわゆる「おかみそり」を行います。実際に髪を剃るわけではありませんが、“髪を剃る”という作法に、自己中心的な心を離れ、改めて仏さまの教えをよりどころとして生きる者になるという、新たな出発の意味があります。

帰敬式は、本山、三条別院、養泉寺のいずれかで受けることができます。また法名は、本山に決めてもらう方法と、住職と一緒に相談しながら決める方法とがあります。受式をお考えの方は住職までお知らせ下さい。全力でサポートいたします。